

事故のない楽しい秋祭り

にしましょう



先

月号に引き続き、事故のない楽しい新居浜太鼓祭りの実現に向けた取り組みについてお知らせします。昨年までに7年連続で太鼓台の鉢合わせが発生しており、負傷者の発生や道路交通の障害、太鼓台所有自治会の負担増など、多くの悪影響が出ています。また、最近ではインターネットやSNSなどの発達により、鉢合わせの画像や動画が全国に拡散されるなど、市のイメージダウンにもつながりかねない事態となっています。

▼事故のない楽しい秋祭り実現に向けて

市内太鼓台関係者や関係団体などで組織している新居浜市太鼓祭り推進委員会では、平成28年の秋祭りのあと、委員会内に平和運行検討専門部会を立ち上げました。専門部会では、平成29年2月から6月までに計4回の会合を重ね、「太鼓台平和運行実現に向けての検討報告書」を取りまとめ、推進委員会会長に報告を行いました。

専門部会の検討において大きな論点となったのが、鉢合わせを行った太鼓台に対する運行停止期間について「1年間」から「2〜3年間」に延長するよう、各地区太鼓台運営委員会（協議会）の会則などを改定する、というものです。

その後、報告書の内容を基に、推進委員会にて平和運行実現に向けた協議を約1年間にわたり行ってきました。協議の中では、特に運行停止期間の延長について『平和運行の達成のためには厳罰化も致し方ない』との意見がある一方、『運行停止期間の延長は、伝統文化行事である太鼓祭りの存続の危機につながり』との意見も出されています。

この2つの意見には大きな差異があることから、推進委員会としての結論を出せていない状況です。

この現状を踏まえ、推進委員会では、鉢合わせを行った太鼓台に対するペナルティ強化の方策について、今後も検討を重ねていく予定です。

▼市内店舗など事業者の皆さんへお願い

市内店舗などの中には、太鼓祭りの時期が近づくと、太鼓祭りの映像を流しているところが多く、祭りの機運醸成や盛り上げなどに大きな役割を果たしています。

しかしながら、その際に太鼓祭り本来の姿ではない鉢合わせシーンが放映されてしまうと、鉢合わせへの期待が高まるなど、市と太鼓台関係者を挙げて事故のない楽しい秋祭り実現を目指している現状に悪影響を及ぼすことが懸念されます。

市内店舗など事業者の皆さんにおいては、不特定多数の人が集まるような場所での太鼓祭り映像放映の際に、鉢合わせ行為が含まれていない映像を選ばふなど、配慮をお願いします。

※写真は過去の太鼓祭り写真コンテスト入賞作品です。